



立志 鍛錬 協調

立三中

令和7年4月30日

立川市立立川第三中学校
Tachikawa Daisan J.H. School

だより

令和7年度が始まりました

校長 敦澤 雅規

今年度、立川市立立川第九中学校から着任いたしました、校長の敦澤雅規（つるさわまさのり）です。どうぞよろしくお願ひいたします。歴代の卒業生や先生方、地域の方々、そして三中生が築いてきた素晴らしい伝統と校風を受け継ぎながら、三中に関わるすべての人たちと、ワクワクしながら笑顔で生活できるような立川三中を、力を合わせて創っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、令和7年度が始まりました。保護者の皆様には、お子様の入学、進級おめでとうございます。3年生150名の4学級、2年生110名の3学級、1年生146名の4学級、合わせて406名、11学級でのスタートです。1年間よろしくお願ひいたします。

【第75回入学式 校長式辞より】（一部抜粋）

146名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生及び教職員一同、みなさんの入学を心より歓迎します。今日から皆さんは、立川第三中学校の大切な一員です。皆さんのが一日も早く中学校生活に慣れ、もつている力を十分に発揮してくれることを心から願っています。



さて、皆さんは、ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手を知っていますよね。彼がアメリカに挑戦したいと言ったとき、当時の日本ハムファイターズ監督栗山英樹さんは、「なんでアメリカに行かなきゃいけないんだ?」と問い合わせました。そのとき大谷選手はこう答えました。「成功するとか失敗するとか僕には関係ない。それをやってみることの方が大事。」普通なら「失敗したらどうしよう」「うまくいかなかったら恥ずかしい」と考えてしまいがちです。でも大谷選手は違いました。「成功するかどうか」よりも「やりたいことに挑戦すること」が大事だと考えていたのです。



新入生の皆さん。中学校生活の3年間は、驚くほどあっという間です。そんな中で、勉強はもちろんのこと、一日一日の学校生活を大切に過ごしてください。そしてたくさんのこと挑戦してみてください。どんなことでも、やってみないと結果はわかりません。もちろん、すべてがうまくいくとは限りません。困ったら仲間の力も借りながら、「どうしたらできるかな」を考え、「自ら学び考え、主体的に物事に取り組み行動」してみてください。そして、学級活動や生徒会活動、学校行事、部活動などで、仲間や先輩たちを信じ、互いを認め合い励まし合いながら、温かいクラス・学年・学校を創り上げてください。私たちは、その過程での皆さんの努力や成長を、全力で応援していきます。

終わりになりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。本日より大切なお子さまをお預かりいたします。中学校3年間で、子供たちは心も体も大きく成長します。その中で、失敗したり悩んだりして、心が揺らぐときがあるかもしれません。そんなときこそ、ご家族の深い愛情で温かく励ましてほしいと思います。



146名の子供たちが、「立川三中で学べて本当に良かった」と心からそう思ってもらえるよう、私たち教職員一同は、家庭・地域とともに力を合わせて、子供たちの学びを守り推進していく所存です。

本校の教育活動に対する皆様のご理解とご協力を願い申し上げ、式辞といたします。

学校ホームページの「日誌」で、日々の学校生活の様子やできごとを随時更新しながらお知らせしていますので、ぜひご覧ください。